

緊急時サポート



復職 — 病気の後



概要

- 病気で長期間欠勤した後、仕事への復帰に怖気づいてしまうのはごく普通のことです。
- 復帰する前に、自分にできることを主治医に尋ね、会社の方針を人事部に確認しましょう。
- 必要であれば、適切なサポートを受けられるよう、雇用主とともに職場復帰の戦略を決めてください。



病気の後の職場復帰

病気で長期間欠勤した後、仕事に復帰することは、非常に困難なものと感じられるかもしれません。1日中働くとなると、体力的に大丈夫か心配になりますよね。また、事務処理やEメールで溢れかえるデスクに戻ることに恐怖を感じる人もいるでしょう。このファクトシートでは、職場に戻る際に何が起こるのか、また、どのような選択肢があるのかについて説明します。できるだけ快適で幸せな復帰を目指しましょう。



復帰の前に

仕事に復帰することを決意する前に、主治医に相談してください。完全な職務復帰に適していると思うか、それとも復職を勧めるのは条件付きなのか、医師に尋ねてみましょう。ほとんどの組織では、何らかの形で職場復帰の手続きを行っているはずですが。そのため、復帰前に上司や人事部に連絡し、勤務先の方針を確認するのが賢明かもしれません。



復帰時

勤務先から復職のための面接を求められることがあります。この機会に、病気だった期間を一緒に振り返ってみてください。勤務先は、あなたの職場環境があなたの体調不良に何らかの影響を与えたかどうかを確認したいと思うかもしれません。面接は、前を向く機会でもあるのです。完全に回復し、フルに仕事をこなす意欲があると、勤務先に安心させることができます。あるいは、仕事量が多いとまた振り出しに戻ってしまうのではないかと不安も説明した方がいいかもしれません。



復職戦略の決定

勤務先は、あなたと一緒に、以下のような職場復帰のための戦略を考えてくれるかもしれません。

- 時短勤務を行う期間
- 同僚がしばらくの間、あなたの仕事の一部を手伝ってくれるという合意
- 病気によって障害が残った場合、職場環境の変更が必要になることがあります。
- また、産業保健チームからアドバイスを受けることもできます。

特に体調を崩していた場合は、しばらく仕事を離れていると、職場復帰が難しく感じられることがよくあります。しかし、適切なサポートがあれば、何が現実的であり、勤務先とどのように協力すれば復帰が皆にとってできるだけスムーズにうまくいくのかを理解することができます。



必要なときに必要なサポートを

緊急時サポートに関するその他のリソースや情報については、optumeap.com/criticalsupportcenterをご覧ください。

Optum

本プログラムは、応急治療や緊急治療が必要な際にはご利用いただけません。緊急の場合は、緊急通報番号（119）に連絡するか、最寄りの救急医療機関に行ってください。本プログラムは、医師やその他の医療従事者の治療に代わるものではありません。特定の治療や医薬品が必要な場合は、医師に相談してください。利益相反にあたる可能性があるため、Optumもしくはその関連機関、または利用者が本サービスを直接または間接的に受けている機関（例えば雇用主または医療保険プランなど）を相手取った法的手段に関わる可能性のある問題については、法律相談を提供することができません。本プログラムとそれを構成するコンポーネントは、一部の州、またグループのサイズによってご利用いただけない場合もあり、内容は変更される場合があります。プログラムには除外事項および制限事項が適用される場合があります。

Optum®はOptum, Inc. の米国およびその他の法域における登録商標です。その他すべてのブランド名または商品名は、各所有者の商標または登録商標であり、各所有者に属しています。Optumは雇用主として均等な雇用機会を提供しています。

© 2023 Optum, Inc. All rights reserved. WF8463081 223388-092022 OHC